

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-289113  
 (43)Date of publication of application : 01.11.1996

(51)Int.Cl. H04N 1/32  
 H04N 1/21

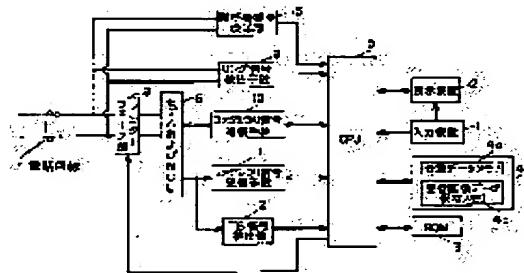
(21)Application number : 07-086857 (71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD  
 (22)Date of filing : 12.04.1995 (72)Inventor : KONO AKIHIRO

## (54) FACSIMILE EQUIPMENT

### (57)Abstract:

PURPOSE: To keep the confidentiality of an important document by transferring confidential data sent from an opposite party desiring facsimile transfer quickly as facsimile signals after the confidential data reception.

CONSTITUTION: The facsimile equipment is provided with an entry device 1 to register a confidentiality desiring sender telephone number and a transfer destination telephone number to specify a sender desiring facsimile transfer to its own equipment and a registration data memory 4a. In the case of confidential reception, whether or not a sender telephone number sent via a line is coincident with a confidentiality desiring sender telephone number registered in its own equipment is collated, and when not coincident, received image data are stored in a reception image data storage memory 4b and the processing is terminated. When coincident, the received image data are stored in the reception image data storage memory 4b. After the end of reception, the transfer destination telephone number is dialed automatically to conduct facsimile transfer.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-289113

(43)公開日 平成8年(1996)11月1日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

H 04 N 1/32  
1/21

識別記号

府内整理番号

F I

H 04 N 1/32  
1/21

技術表示箇所

E

審査請求 未請求 請求項の数3 O.L (全5頁)

(21)出願番号 特願平7-86857

(22)出願日 平成7年(1995)4月12日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 河野 昭宏

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

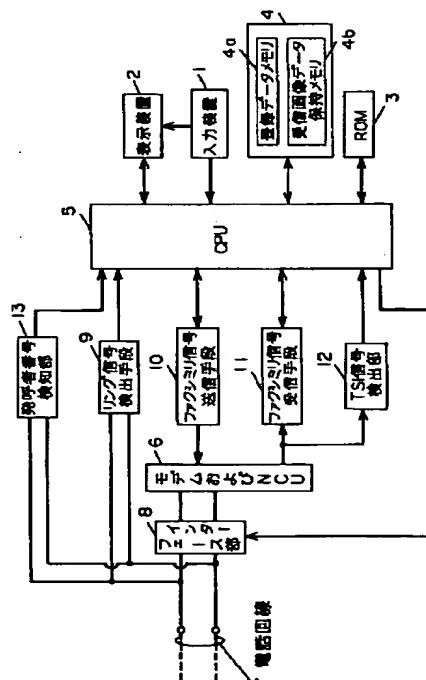
(74)代理人 弁理士 橋本 智之 (外1名)

(54)【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57)【要約】

【目的】 親展受信したデータのファクシミリ転送を希望する相手から送られてきたデータを、親展受信後速やかにファクシミリ転送することで、重要文書の機密性を保つ。

【構成】 ファクシミリ転送を希望する発呼元を特定するための親展希望発呼元電話番号と転送先電話番号を自機に登録するための入力装置1および登録データメモリ4aを有し、親展受信の際は、回線を介して送られてきた発呼元の電話番号が自機に登録されている親展希望発呼元電話番号と一致するか否か照合し、一致しなければ受信画像データを受信画像データ保持メモリ4bに格納して処理を終了し、一致している場合は受信画像データを受信画像データ保持メモリ4bに格納し、受信終了後、自動的に転送先電話番号をダイアリングしてファクシミリ転送をするように構成した。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】相手機の電話番号と受信画像データを格納する画像データ保持メモリを備えたファクシミリ装置において、

親展受信後ファクシミリ転送を希望する発呼元を特定するための親展希望発呼元電話番号と転送先電話番号とを登録するための登録手段と、

親展受信が指示されている時にファクシミリ着信を受けた場合は、送信元の電話番号が自機に登録されている親展希望発呼元電話番号と一致するか否か照合し、一致しなければ受信画像データを画像データ保持メモリに格納して終了し、一致している場合は受信画像データを画像データ保持メモリに格納するとともに受信終了後に自動的に転送先電話番号をダイアリングしてファクシミリ転送をするよう制御する制御手段を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】予め親展受信後ファクシミリ転送を希望する親展希望発呼元電話番号と転送先電話番号の入力が可能な入力手段と、

親展受信を希望する親展希望発呼元電話番号を記憶するための第1の記憶手段と、

転送先電話番号を記憶するための第2の記憶手段と、前記入力手段によって入力された親展希望発呼元電話番号および転送先電話番号をそれぞれ第1の記憶手段および第2の記憶手段に格納する登録制御手段と、着信の際、発呼元の電話番号を検出する発呼元電話番号検出手段と、

親展受信の際、前記発呼元電話番号検出手段によって検出された発呼元の電話番号と前記第1の記憶手段に記憶されている親展希望発呼元電話番号とを比較し、両電話番号が一致した場合は受信画像データを画像データ保持メモリに格納し、受信終了後、第2の記憶手段に記憶されている転送先電話番号を読みだして発信を行い、前記画像データ保持メモリに格納した画像データを転送先へ発信する制御手段を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】発呼元電話番号検出手段は、回線を介して送られてきたT S I信号にセットされている発呼機の電話番号を取得することを特徴とする請求項2記載のファクシミリ装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、親展受信した画像データのファクシミリ転送機能を備えたファクシミリ装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来のファクシミリ装置における親展通信の方法としては、例えばファクシミリ装置に受信パスコードを登録しておき、送信側のオペレーターが受信側のファクシミリ装置に予め登録されている受信パスコー

ドと同じパスコードを設定して送信するものがあった。

【0003】すなわち、着信の際、受信側で登録されている受信パスコードと、送られてきたパスコードが一致することで親展通信が成り立ち、受信画像データをすぐに印字せず、メモリ格納指定がある場合はメモリ受信して、受信側ユーザーの暗証番号入力により記録紙印字するよう構成されていた。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】留守中に受けたファクシミリ受信のなかには、その内容や送信元によっては外出先の装置へ転送させたい場合があるが、転送モードに設定した場合、受信した件をすべて転送してしまい、ファクシミリ装置を数人で共同使用している場合には他人宛の件まで転送されてしまうことになって具合いが悪い。また印字されたものを他の人にお願いして外出先の装置へ送信させてもらう場合、送信作業の際に内容を他人に見られてしまうことがある。たとえ親展通信を設定しても、他の人にお願いして外出先へ転送させてもらうには、転送の作業をお願いした人に暗証番号を教えて一旦印字させなければならないので、プライバシーが守れないといい問題点を有していた。

【0005】本発明は上記従来技術に鑑みてなされたもので、重要書類などを、他人に見られることなく速やかに他のファクシミリ装置へ転送する機能を持つファクシミリ装置を提供するものである。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため本発明のファクシミリ装置は、ユーザが予め、親展受信後ファクシミリ転送を希望する発呼元を特定するための親展希望発呼元電話番号と、転送先電話番号を自機に登録することができ、ファクシミリ着信を受けた場合は、親展受信であれば、回線を介して送られてきた発呼元の電話番号が自機に登録されている親展希望発呼元電話番号と一致するか否か照合し、一致しなければ受信画像データを保持メモリに格納して処理を終了し、また一致している場合は受信画像データを画像データ保持メモリに格納し、受信終了後、自動的に転送先電話番号をダイアリングしてファクシミリ転送をするという制御を行う制御手段を備えている。

## 【0007】

【作用】この構成によって、親展受信の場合、相手から送られてきた画像データは一旦画像データ保持メモリへ格納され、受信終了後、親展転送先番号記憶手段に格納された電話番号が読みだされて発信され、前記画像データ保持メモリに格納された画像データはこの電話番号の転送先へ速やかに送信されるので、重要書類などの機密性を保つことが出来る。

## 【0008】

【実施例】以下本発明の一実施例について、図面を参照しながら説明する。

【0009】図1は本実施例のファクシミリ装置を示す機能ブロック図であり、1は使用者が種々の設定・入力操作を行うための入力装置であり、親展受信後ファクシミリ転送を希望する発呼元を特定するための親展希望発呼元電話番号と、転送先電話番号を登録する場合はこの入力装置1によってこれらの電話番号を入力する。2は表示装置であり、種々の情報および入力装置1から入力された入力データの表示を行う。

【0010】3は本実施例の動作を行うプログラムを記憶したROM(読み出し専用メモリ)である。4は記憶部であり、入力された送信元と転送先の電話番号情報を記憶する登録データメモリ4aと、受信画像データを保持しておく受信画像データ保持メモリ4bを備えている。5はROM3のプログラムによって動作し、本装置を制御するマイコンのCPUである。6は通信を行うためのモデムおよびNCU6である。

【0011】7は電話回線である。8は回線閉結・開放等、電話回線に対して接続するためのインターフェース部、9は着信の際に電話回線7から入力するリング信号を検出するリング信号検出手段である。10は原稿読み取り装置を備えたファクシミリ信号送信手段、11は印字装置を備えたファクシミリ信号受信手段、12は受信信号中のTSI信号を検知し、このTSI信号にセットされている種々信号を取り出すTSI信号検出部である。

【0012】図2は本実施例における親展通信の画像データをファクシミリ転送する場合の設定方法を説明するためのフローチャートである。また本実施例の親展受信の動作を説明するためのフローチャートを図3に示す。

【0013】以下各構成要素の関係動作について、図1のブロック図及び図2、図3のフローチャートを用いて説明する。

【0014】図2において親展受信転送の設定操作を説明する。ユーザーは入力装置1を用いて親展送信画像データ転送処理の設定を選択し、表示装置2に表示されるメッセージに従って、入力装置1を用いて親展受信を希望する発呼元電話番号を入力して登録する(S1)。ここで入力装置1によって入力された電話番号は登録データメモリ4aに格納される。このように登録された電話番号を、以下、親展希望発呼元電話番号と呼ぶ。

【0015】次に入力装置1を用いてファクシミリ転送先の電話番号を入力して登録する(S2)。入力されたファクシミリ転送先電話番号も登録データメモリ4aに格納される。この手順により、ユーザーによる親展送信の設定操作は完了する。

【0016】次に親展受信の動作について説明する。図3において、まず本ファクシミリ装置がファクシミリ着信を受けた後(S3)、相手機との通信プロトコルを介して、NSS信号にセットされているパスコードが自機に登録されているパスコードと一致した場合親展受信と

判断する(S4)。

【0017】次にTSI信号にセットされている相手機の電話番号(サブID)を取得する(S5)。この送信元電話番号が図2のS1で示した、登録電話番号すなわち親展希望発呼元電話番号と一致するか否かマイコンが照合する(S6)。この照合によって両電話番号が一致しない場合は、通常の親展受信とし、メモリ格納指定があれば受信画像データを保持メモリ4に格納して処理を終了する(S7)。

【0018】TSI信号から取得された送信元電話番号が登録されている親展希望発呼元電話番号と一致した場合は、送信元が親展受信を希望する相手だと判断して受信画像データを図1の受信画像データ保持メモリ4bに格納する(S8)。そして一旦親展受信処理を終了し回線を切る(S9)。

【0019】S8にて親展受信を行い、S9にて回線を切断した後、マイコンは図2のS2で登録された転送先電話番号をダイアリングして(S10)、親展受信画像データを転送送信する(S11)。

【0020】このように本実施例では、親展受信後速やかに他のファクシミリ装置へ転送することができ、重要書類などの機密性を保つことが出来るとともに、このような転送処理は発呼者の特別な設定や操作が必要無いので、予め発呼者へ親展通信を依頼しなくても実行される。

【0021】なお以上の説明では、発呼元電話番号検出手段としては発呼元ファクシミリ装置から回線を介して送られてきたTSI信号にセットされている発呼機の電話番号を取得するものであるが、他の手段として、電話会社のサービスとして電話交換局側から送信されてくる発呼元電話番号情報を図1に示す発呼者番号検知部13によって検知し、発呼元電話番号を取得してもよい。

【0022】また、本発明は親展通信だけでなく、メールボックス通信においても同様に、メールボックス受信した画像データのファクシミリ転送を希望する転送元の電話番号と、転送先の電話番号を予め登録することと、図3のS6の処理をメールボックス受信用の判定が可能とすることで、メールボックス受信の際、転送元の電話番号がファクシミリ転送を希望する転送元の電話番号と一致した場合、受信終了後、指定された転送先へファクシミリ送信を行うことが出来る。

【0023】

【発明の効果】以上のように本発明は、ファクシミリ転送を希望する発呼元を特定するための親展希望発呼元電話番号と転送先電話番号を自機に登録することができ、親展受信の際は、回線を介して送られてきた発呼元の電話番号が自機に登録されている親展希望発呼元電話番号と一致するか否か照合し、一致しなければ受信画像データを保持メモリに格納して処理を終了し、一致している場合は受信画像データを画像データ保持メモリに格納

し、受信終了後、自動的に転送先電話番号をダイアリングしてファクシミリ転送をするように構成したので、親展受信後そのままファクシミリ転送を希望する相手から送られてきた画像データのみ、親展受信後速やかに他のファクシミリ装置へ転送することができ、重要書類などの機密性を保つことが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例におけるファクシミリ装置の構成を示す機能ブロック図

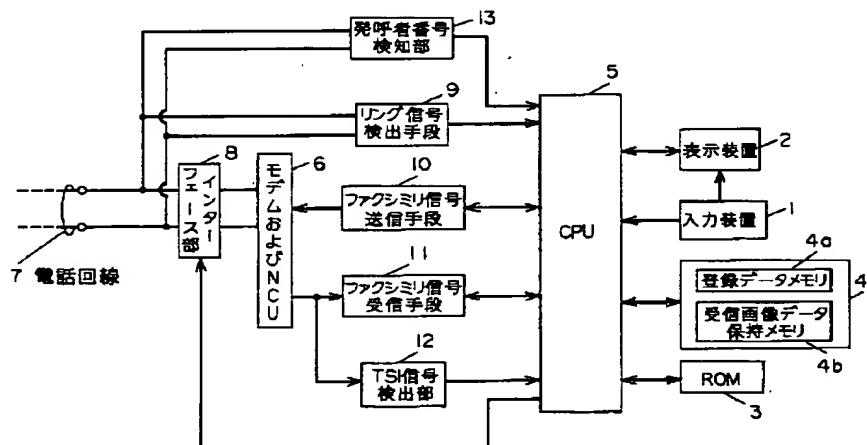
【図2】本発明の実施例における親展受信転送を設定する場合のフローチャート

【図3】本発明の実施例における親展受信処理を表すフローチャート

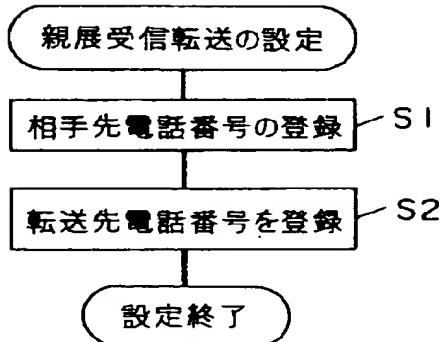
【符号の説明】

- \* 1 入力装置
- 2 表示装置
- 3 ROM
- 4 記憶部
  - 4 a 登録データメモリ
  - 4 b 受信画像データ保持メモリ
- 5 CPU
- 6 モデムおよびNCU
- 7 電話回線
- 8 インターフェース部
- 9 リング信号検出手段
- 10 ファクシミリ信号送信手段
- 11 ファクシミリ信号受信手段
- 12 TSI信号検出部
- \* 13 発呼者番号検知部

【図1】



【図2】



【図3】

